

アートと人と町の 関わりってどんなもの？

～現代美術家・宮島達男と考える、アートとコミュニティの関わり～

参加者
募集中！

事前予約制



富岡町に《時の海 - 東北》美術館（仮称）の建設を目指す

現代美術家・宮島達男によるアートとコミュニティに関する対話型の講演会＆タイム設定ワークショップを開催！

第1部は、宮島がこれまでに様々な地域コミュニティと共に取り組んできたアートプロジェクトを紹介します。また、富岡町に建設予定の《時の海 - 東北》美術館（仮称）について、町にどのような変化が期待できるのか、少し未来の富岡町を参加者と共に想像する対話型の講演会です。

第2部は、《時の海 - 東北》美術館（仮称）に恒久設置する作品《Sea of Time - TOHOKU》の制作ワークショップです。永遠に残り続ける作品にあなたの想いを込めて、アーティストの一人になりませんか？ぜひ、ご参加ください。※ワークショップは、希望者多数の場合には抽選となります。

開催概要

2026年

日時 1月24日（土）

13:30～17:00（13:00～受付）

会場 富岡町文化交流センター
「学びの森」大ホール
(〒979-1151
福島県双葉郡富岡町本岡王塚622-1)

参加費

無料

講演会 150名 程度

定員

タイム設定ワークショップ

抽選 50名

タイムテーブル

13:00 受付開始

13:30 第1部 対話型の講演会
登壇者：宮島達男（現代美術家）

15:00 休憩・会場転換

15:20 第2部 タイム設定ワークショップ

17:00 終了予定

タイム設定ワークショップ 参加条件

小さなお子様から大人まで、プロジェクトの主旨に賛同いただける方はどなたでもご参加いただけます。

注意事項

※「タイム設定」は、お一人様につき1回のみの参加です。
※既にタイム設定に参加し参加証明書をお受け取りの方は、設定した秒数を変更することはできません。
あらかじめご了承ください。



宮島 達男（みやじま たつお） 現代美術家

1957年生まれ。1988年 ベネツィア・ビエンナーレ新人部門に招待され、デジタル数字を用いた作品で国際的に注目を集め。世界30カ国250か所以上で作品を発表している。

代表作に《Mega Death》(1999 / 2016)、《Counter Void》(2003、テレビ朝日蔵)、《Sea of Time '98》(1998)など。被爆した柿の木2世を世界の子どもたちに育ててもらう「時の蘇生・柿の木プロジェクト」(1995-)も推進している。1998年 ロンドン芸術大学名誉博士授与。2006-2016年 東北芸術工科大学副学長。2012-2016年 京都造形芸術大学副学長。2020年 芸術選奨文部科学大臣賞。

ご予約はこちら

以下の必要事項をご記入の上、お申し込みください。

- ▶ 氏名
- ▶ 件名：「アートと人と町の関わりってどんなもの？参加希望」
- ▶ 内容：参加人数、お連れ様のお名前、参加希望のプログラム（講演会・ワークショップ）をご記入ください（両方の参加可）
- ▶ メールアドレス

※ワークショップは、希望者多数の場合には抽選となります。

※お預かりした個人情報は、厳重に管理し、本事業の運営およびご案内のみに使用いたします。

※内容は変更になる場合があります。

学びの森ホームページの
イベント申し込みフォームにアクセス

申込締切：2026年1月9日（金）



「時の海 - 東北」プロジェクトとは

東北に想いを寄せる3,000人と協働制作した作品を永遠に残すために、富岡町に美術館建設を目指す

東日本大震災をきっかけに現代美術家・宮島達男が犠牲者の鎮魂と震災の記憶の継承、これからの中北の未来を共につくっていくことを願い、東北に想いを寄せる3,000名の人々と協働してつくりあげるアートプロジェクト。作品《Sea of Time - TOHOKU》を恒久設置するための《時の海 - 東北》美術館(仮称)を、福島県富岡町の沿岸部に建設を予定しています。

《時の海 - 東北》美術館(仮称)の内観イメージ▶

※2025年11月時点のイメージです
©Atelier Tsuyoshi Tane Architects



第1部：対話型の講演会

宮島達男のアーティスト活動の紹介をはじめ、様々な地域コミュニティに関わり協働制作してきた取り組みの事例や、富岡町に2027年度に竣工予定の《時の海 - 東北》美術館(仮称)についてもご紹介します。町に美術館ができるとはどういうことなのか？どのような変化が期待できるのか？少し未来の富岡町を参加者と共に想像する対話型の講演会です。



▲ 宮島達男 | Hundred Life Houses | 2014

大分県国東市成仏地区の崖に制作・設置されたこの作品は成仏に暮らす人々と全国・世界各地からの参加者とともに制作され、現在も展示されている。(Photo: Nobutada Omote)

◀ 家プロジェクト「角屋」| 宮島達男 | Sea of Time '98 | 1998

直島に暮らす125名の人々がタイム設定に参加し、地域コミュニティとともに制作された宮島達男の代表作の一つ。1998年から現在までベネッセアートサイト直島で展示され続けている。(Photo: Ken'ichi Suzuki)



◀ Sea of Time '98

タイム設定ワークショップに参加する直島の人々

第2部：タイム設定ワークショップ



▲ 作品を構成するLED

◀ ワークショップの様子

作品《Sea of Time - TOHOKU》のLEDの数字は、9、8、7…と一定の間隔でカウントを続けます。その「間隔=時間」を0.2秒～120.0秒の中から選び、その時間に込めた想いを対話するワークショップです。このLEDの数字の瞬きは、生命の永続性を象徴しています。これまでに2,838名(2025年10月31日時点)が参加しています。

※ワークショップは、希望者多数の場合には抽選となります。

富岡町教育委員会 生涯学習課

〒979-1151 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622番地の1(富岡町文化交流センター内)

問い合わせ

Tel : 0240-22-2626

休館日：月曜日（月曜日と祝日が重なった場合は翌平日も休館）、祝祭日